

江戸時代初期、古河藩主土井利勝が、江戸で家臣の子どもたちに桃の種を拾い集めさせ、古河に送って育てさせたのが始まりじゃ！
領地では、燃料となる薪が乏しかったので、成長が早く、果実が食料になる桃が選ばれたのじゃ！



ゆきどのくん

ぼんだゆう

昭和50年の古河総合公園の開園を機に、ハナモモ(花を觀賞するための桃)を植えて江戸時代をしのぶ桃林を復活させたのよ！
約1,500本のハナモモが咲き誇る景色は桃源郷のようだわ！



こがのつぼね

ゆきひめ

